

虫たちの居場所

仙台市立若林小学校

四年

高村

凌生

今年もいない。

前はあんなにたくさんいたのに……。

ぼくは泣きそうになりながら、草むらを一
生けんめいに探した。

二年前、あの台風が来るまで、この河原の
草むらにはたくさんのお虫たちがいた。

二〇一九年の秋、台風十九号が去って、暑
いくらいに晴れた日に、いつもゴミ拾いに行
く広瀬川の河原がどうなったのか、河原に往
入っている虫たちが心配で、ぼくはとてむ気に
なつた。

川には絶対に近づかない約束をして、母と
一緒に土手から様子を確認しに行つたら、ぼ
くがバツタ王国と名づけていた草むらは、川
の水が増水して、水の底になっていた。

あそこにはいた、尺山のバツタヤコオロギは
ちやんとひなんできたのかな。

あの辺りの土に卵が産みつけられていたよ

ずなのに、みんな台風のせいで流されてしま
ったの？

あれから二年経つけれど、バツタ王国は虫
たちがへったままで、前のようにちよつと草
むらに足を踏み入れただけで、あちこちから
バツタがピョン！ピョーン！と元気よく
飛びはれる姿は見られない。

地球温暖化が進むと勢力の強い台風が増え
ると父から聞いた事がある。

台風による水害が増えたら、虫たちが安心
して過ごせる場所がどんどん無くなってしま
う。虫が苦手な人は、虫がなくなっていくた
ほうがいいって思うがもしれなければ、虫
が減ると虫を食べる生きものも困るようにな
る。

カエルや鳥、虫の中には、小さな虫や死ん
だ虫を食べる種類もいる。虫たちが草木や花
を行き来することで受粉を手伝う事もある。
生態系が崩れてしまえば虫たちはなくては
ならない、とても大切な存在なんだ。

それに、虫がいなくなっ
てしまったら、ぼくはと
ても悲しくなるだろう。そ
の季節にか会えない昆虫と
会うのも楽しみたいし、ぼ
くの大事な友達だから。

虫たちが減っている理由
は、台風だけじゃない。

地球温暖化で大雨による
災害が、日本各地でよく起
きるようになった事から広
瀬川も防災・減災のために、
災害に強い川づくりの計
画が立てられた。また、今
ある橋の老朽化で

新しい橋を架ける工事が始
まったのだ。

どちらも必要な工事なの
だとは、ぼくも頭ではわかっ
ているつもりだけど、草がた
くさ人茂っている虫たちの居
場所が工事で減ったように思
う。

草刈りの時もそうだ。もう
少し、昆虫たちのために草を
刈らないエリアを残してあ
げてほしい。

夏の夕暮れ時に、母と広瀬
川の土手によく散歩へ行く。

一年生の頃はたくさんバクを捕まえては
ケースに入れて家に連れて帰ったけれど、昨
年くらいから捕まえても、少し観察させても
らった。元気でね！
！
と心の中で願いながら、草むらへ放すよう
にしている。

他にも、ぼくにできる事はあるのが考えて、
市の河川を管理しているところに手紙を書く
ことにした。

雑草を刈る時も工事の時も、そこに今、住
んでいる昆虫のためにもう少し居場所を残し
てあげてくださいます。と書いてみよう。

今のやり方だと、川岸の草を残しているけ
れど、それだと川の水が増水した時にそこに
いる昆虫たちが被害にあってしまう。

川岸からはなれた場所にも、昆虫のため
に草を刈らずに、残す場所を作ったほうが良い
とぼくは思う。

すぐには変わらないかもしれないけれど、
何にもしななければ、このまま昆虫たちはど
ん居場所がなくなっ
て減っ
てい
てしま
う
から、伝える事から始めよう。